

①オーストリアの魅力に迫る～歴史・世界遺産・音楽を中心に					日曜日【1限目】 10:30～12:00
内容	平成27年度は、羽曳野市がオーストリア共和国ウィーン市13区ヒーティングと友好交流都市協定を結んで20周年を迎えます。これを記念し、さらなる交流を深めるため、その魅力を学んでいただきます。				
1	6/7	ハプスブルクとオーストリア+大阪城屏風絵の謎	4	7/5	音楽の都ウィーンの源流を訪ねて-音楽史の中のウィーン
2	6/14	ウィーンとヒーティング+青野原捕虜収容所	5	7/12	ウィーン気質の音楽-ピーターマイヤーとウィーン
3	6/21	女帝と皇妃の物語:シェーンブルン宮殿とウィーン歴史地区	6	7/19	世界初! アルプスを越えた路線:ゼメリング鉄道

②「自己」について考える					【四天王寺大学特別公開講座】	日曜日【2限目】 13:00～14:30
内容	「自己」とは、「私」、「自分」、「自我」などのことです。自己決定=自己責任の時代といわれていますが、いったい「自己」とは何でしょうか。自分自身についてあらためて考えてみる機会として受講してみたい方はいかがでしょうか。					
1	4/26	社会学からみた「自己」	7	6/14	自己肯定と自己否定の光と陰-「私」の見え方が世界の見え方を変える	
2	5/10	日本社会と日本人の「自己」	8	6/21	「我を忘れる」のはなぜか-衝動性と自己コントロールの心理学	
3	5/17	「自己」の目覚め-子どもの「自己」	9	6/28	我思う、故に我あり「こしん(己心・己身)」	
4	5/24	「自己」の確立-おとなの「自己」	10	7/5	我思う、故に我あり「が(我)」	
5	5/31	自己をみつめる心理療法①-精神分析、行動療法、人間性心理学における自己のとらえ方	11	7/12	私ってどんな人間?-記憶に支えられる自己	
6	6/7	自己をみつめる心理療法②-フォーカシングで自己をみつめる-フォーカシング指向アートセラピー実習~	12	7/19	「私」を語るということ-2つの社会問題から	

③文化による社会づくりと大阪～大坂の陣400年記念企画					【日本テレマン協会提携講座】	日曜日【3限目】 15:00～16:30
内容	大坂の陣400年をテーマに、宗教・音楽・庶民の暮らし・歴史背景そして講談の中での描写など様々な視点から浮き彫りにし、当時の日本を考え、「今」を照らし出します。「文化による社会づくり」を実践する作家・中野順哉の手法とは! ※第3・4講義は、現地集合(13時)・現地解散(16時)となります。要入館料。					
1	5/10	16世紀-世界の中のニッポン	7	6/14	講談に見る「大坂の陣」武将伝:徳川家康	
2	5/17	激動の1615年・大坂-大坂の陣400年を迎えて-	8	6/21	講談に見る「大坂の陣」武将伝:後藤又兵衛	
3	5/24	現地講義:発掘資料でたどる近世大坂の歴史と生活	9	6/28	講談に見る「大坂の陣」武将伝:真田幸村	
4			10	7/5	講談に見る「大坂の陣」武将伝:藤堂高虎	
5	5/31	中世からルネサンス、バロックにおける宗教音楽の変遷	11	7/12	地方史から見える「日本史」の横顔	
6	6/7	講談に見る「大坂の陣」武将伝:豊臣秀頼	12	7/19	文化による社会づくりと大阪	

④オーストリア・ウィーン 音楽の旅					【大阪芸術大学提携講座】	水曜日【1限目】 10:30～12:00
内容	音楽の都と呼ばれるオーストリア・ウィーン。この講座では器楽奏者・声楽家・指揮者がオーストリア・ウィーンに縁のある作曲家について講義します。器楽奏者(森下治郎・田淵幸三・南祐子・高久理恵)声楽家(櫻井直樹・水口聡)指揮者(牧村邦彦)合唱指揮者(河田早紀) ※第7～9講義の場所は3F音楽実習室となります。					
1	5/13	バロックから古典派へ…。ハイドン、モーツァルト 宮廷音楽の調べ	7	6/24	ウィンナーオペレッタの黎明 J・オフエンバック F・スツベ	
2	5/20	モーツァルトのオペラ～その人と作品～	8	7/1	ウィンナーオペレッタの繁栄① J・シュトラウスⅡ	
3	5/27	ベートーヴェン第九交響曲	9	7/8	ウィンナーオペレッタの繁栄② F・レハール	
4	6/3	遙かなるベートーヴェン、シューベルトの調べ	10	7/15	バッハ一族とモーツァルト	
5	6/10	ショパン、リスト～ウィーンに残した足跡～	11	7/22	モーツァルトと女性①	
6	6/17	ブラームス-その音楽に秘められた思い-	12	7/29	モーツァルトと女性②	

⑤「人間」と「歴史」					【太成学院大学提携講座】	水曜日【2限目】 13:00～14:30
内容	学びを欲するのは、人間の欲求の一つである。講座の話題のスケールは、地球規模から人間の認知の仕組みまで。様々な専門分野、文化、歴史、宗教などからお話しいたします。豊かな学びのひとときを是非お楽しみください。					
1	5/13	「うた」の発生と「クニ」のはじまり	7	6/24	英語辞書の変遷と歴史-江戸～明治時代前期まで-	
2	5/20	食べるのは人が先か動物が先か	8	7/1	江戸時代後期はびきのの村の農業経営	
3	5/27	人生いろいろ-出会い・学び・そして夢実現-	9	7/8	グローバル(開発)教育-グローバルな自己の探求-	
4	6/3	宗教とはなんだろうか	10	7/15	日本列島はどこへ行く?-地球の歴史を考える-	
5	6/10	日本の四季を愛で、人生の巡りを祝う	11	7/22	認知の仕組み	
6	6/17	民衆の歴史と文化:グローバル英語とは何か?	12	7/29	魔女狩りの歴史からみるヨーロッパ文化	

⑥-百舌鳥・古市古墳群をより深く知るための-世界遺産講座V					水曜日【3限目】 15:00~16:30	
内容	世界遺産登録が推進されている百舌鳥・古市古墳群をめぐって、巨大な前方後円墳のすがたやその時代の文化、発掘調査による新たな発見、関連する王墓や世界遺産など多彩な話題を取り上げ、百舌鳥・古市古墳群と世界遺産についての理解を深める講座です。					
1	5/13	巨大前方後円墳への道	7	6/26(金)	古墳時代の米作り-水田農耕の考古学-	
2	5/20	騎馬遊牧民の古墳	8	7/1	百舌鳥古墳群 ニサンザイ古墳の発掘	
3	5/27	5・6世紀における王宮と王陵	9	7/7(火)	中国皇帝陵と風水	
4	6/3	大王陵の形象埴輪	10	7/15	『古事記』『日本書紀』の物語と古市古墳群	
5	6/10	墓山古墳細見	11	7/22	古墳時代の装身具	
6	6/17	世界遺産「正倉院」は語る	12	7/29	百舌鳥・古市古墳群の武器と軍隊	

⑦大学博物館を識る					【学長企画講座】 土曜日【1限目】 10:30~12:00	
内容	関西には博物館のある大学が少なからずありますが、その存在はまだ広く知られていないようです。「知の殿堂」として市民や地域社会に開かれた大学博物館の将来像を、各館から専門家を招いて探ります。					
1	4/25	大学博物館の歴史	7	6/13	大阪青山歴史文学博物館	
2	5/9	関西大学博物館	8	6/20	大阪大学総合学術博物館	
3	5/16	大阪商業大学商業史博物館	9	6/27	関西学院大学博物館	
4	5/23	追手門学院大学宮本輝ミュージアム&大阪城スクエア	10	7/4	立命館大学国際平和ミュージアム	
5	5/30	大阪芸術大学博物館	11	7/11	大阪大谷大学博物館	
6	6/6	神戸大学山口誓子記念館	12	7/18	大学博物館の今後	

⑧日本の課題					【阪南大学提携講座】 土曜日【2限目】 13:00~14:30	
内容	文藝春秋社が毎年発行している『日本の論点』をまねて、日本が抱える問題を多方面から掘り下げてみたいと思います。金融、雇用、社会保障、政治、グローバル化、環境、そして東日本大震災の影響など、日本の未来を皆様と共に考えます。					
1	4/25	データで読み解く日米の金融政策	7	6/13	アメリカの医療保険制度改革に見るオバマの挑戦	
2	5/9	持たざる国の事情~1920・30年代の日本の財政	8	6/20	競争社会の到来と独占禁止法	
3	5/16	日本における女性の就業促進という課題	9	6/27	一票の格差について	
4	5/23	統計資料から見る日本のワーキングプア	10	7/4	企業のグローバル化に立ち塞がる「異文化理解」の壁	
5	5/30	経済社会の多様化とルールが多様化	11	7/11	人生の先輩方と考える 資源・環境問題とこれからの日本	
6	6/6	「社会保障と税の一体改革」をめぐって	12	7/18	3.11東日本大震災と日本の未来	

⑨日本社会の“近未来予想図”					【追手門学院大学提携講座】 土曜日【3限目】 15:00~16:30	
内容	バブル崩壊から四半世紀、日本社会は変わりつつあります。その兆候を探りながら、これからの日本社会を占います。解決すべき問題、今の日本に足りないもの、これから大切にすべきことは何か。21世紀の成熟社会の姿を多彩な分野から描いてみましょう。					
1	4/25	幸福小国日本の現実	7	6/13	心と健康のための食生活	
2	5/9	危機に立つ日本のものづくり	8	6/20	看取りとお墓の今までとこれから	
3	5/16	危機の時代の大学	9	6/27	自分らしい「終活」とエンディング	
4	5/23	21世紀を生きぬく力を育てる教育とは	10	7/4	装いが生きがいを作る?-アンチエイジング-	
5	5/30	地域づくりと住民パワー	11	7/11	ミツバチでつながるコミュニティ	
6	6/6	高齢化社会と自己管理能力-認知症と生活習慣病-	12	7/18	世界の中の日本	

⑩『姓名文学』を読む~あなたと同姓同名の主人公					木曜日【1限目】 10:30~12:00	
内容	同じ名字や同姓同名の作家、主人公たちの生き様を比較し、姓名を手がかりに文学を読み解く本邦初の試みです。もしあなたと同姓同名のキャラクターがいたら、気になりませんか?同姓同名の著名人の例も含めて、名付けとキャラクターの運命の謎を解説し、文学を新たな視点から楽しみましょう。					
1	5/14	村上春樹と村上龍~ペンネームと本名について	4	6/4	エンタメ・漫画キャラの登場人物名~明智小五郎、星飛雄馬など	
2	5/21	小説の登場人物名~鷗外と藤村の「小泉」など 近代文学編	5	6/11	大阪府同姓ベスト3「田中、山本、中村」~地方別・同姓編	
3	5/28	小説の登場人物名~ノルウェイの森と暗夜行路の直子など 現代文学編	6	6/18	海外同姓キャラ~米国同姓ベスト3「スミス、ジョンソン、ブラウン」	

お申し込み・お手続きについては次のページをご覧ください。

# - 要 項 -

下記内容をお確かめの上、お申し込みください。

## 場所と定員

講座①⑦ →時とみどりの交流館(峰塚公園管理棟) 各30人  
 講座②③④⑤⑥ →LICはびきの 3F 視聴覚室 各60人  
 ⑧⑨⑩

※現地講義の場合は、現地までの交通費・見学料等は別途実費負担となります。集合場所・時間などの詳細については決まり次第お知らせします。

※定員を超えた場合は、抽選を行います。定員に達していない講座は追加募集を行います。

## 対象

市内・市外を問わず、どなたでもお申し込みできます。  
 ※介助(点訳)・託児(2歳児～就学前)が必要な方はその旨をお知らせください。それ以外はお相談ください。

## 日程

[募集締切]3月15日(日) 必着。  
 [受講決定]3月27日(金)までに「はびきの市民大学受講の決定について(通知)」が届かない場合は、ご連絡ください。  
 [受講手続]受講料をそえて4月1日(水)～4月10日(金)の間にはびきの市民大学までお越しください。

## 受講料

講座②～⑨(12回講義)、各6,000円  
 講座①・⑩(6回講義)、各3,000円  
 ※一旦納付された受講料は返金できません。

## 申込方法

[インターネット]はびきの市民大学ウェブページ  
 [来館]官製はがきを持参の上、お越しください。  
 [往復はがき]必要事項(下記参照)を記入して投函してください。

52 往信用ハガキ表面 往信 〒583-0854 羽曳野市軽里1-1-1 LICはびきの内 はびきの市民大学 行	52 返信用ハガキ裏面 印字しますので無記入 でお願います。
52 返信用ハガキ表面 返信 〒583-0854 羽曳野市軽里1-1-1 LICはびきの内 はびきの市民大学 行	52 往信用ハガキ裏面 ・氏名(フリガナ) ・性別 ・年齢 ・郵便番号 ・住所 ・電話(FAX)番号 ・希望講座(複数可) 介助が必要な方はその旨をご記入ください

## ～お問い合わせ～

はびきの市民大学(業務受託者:株式会社みのりの里)  
 〒583-0854 羽曳野市軽里1-1-1 LICはびきの内  
 TEL 072-950-5503・FAX 072-950-5650  
 HP <http://www.city.habikino.lg.jp/lic/shimindaigaku/>  
 E-mail [shimindaigaku@minorinosato.com](mailto:shimindaigaku@minorinosato.com)

## -はびきの市民大学からのお知らせ- ボランティアさん募集中!

☆参加できる時間や曜日はご相談ください。

### 介助グループ

身体介助の必要な方や小さいお子さんをお持ちの方のために安心して市民大学を利用して頂けるよう、介助や託児を担当しています。

### 記録グループ

「はびきの市民大学」学生通信を年2回発行しています。講師や受講生へのインタビューも行います。

### 講座グループ

講座日に、講義の進行補助をしています。具体的には講義の準備・講義の撮影・資料配布・受講カードの回収等を行っています。

### 情報グループ

LICはびきの2Fの学習情報室で、来訪者への対応パンフレットの整理などを担当しています。

**土日にご参加いただける方! 急募!**

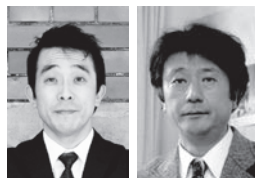
## こども考古学講座 ～ねん土で作るはにわ編～



日 程 3月15日(日) 13時00分～14時30分  
 場 所 LICはびきの2F美術・工作創作室  
 講 師 大阪府立近つ飛鳥博物館 教育専門員 加藤三郎  
 大阪府立近つ飛鳥博物館 学芸員 鈴木夏  
 定 員 30人  
 対 象 小学生～中学生  
 ※小学3年生以下は必ず保護者が1人同伴。  
 ※見学者(保護者以外)は参加者1人につき1人まで。2人以上の場合はご相談ください。  
 申込方法 電話または来館  
 ※必要事項: 氏名・性別・年齢・住所  
 電話番号・保護者氏名  
 申込締切 3月14日(土)  
 ※定員になり次第、締切となります。  
 受講料 300円(当日支払)  
 持参物 ぞうきん・エプロン  
 竹べら・持ち帰り袋

学位授与式・入学式・特別講義を同日に開催します!

## 特別講義「大坂夏の陣-400年の時を超えて」 羽曳野に散った英雄たちが最後に見たものは…



-大坂の陣-  
 それは戦国の勝者を決めるトーナメントであったのか。背景にあった政策、宗教、派閥争い。国の将来をかけた合戦に集まった英雄たちには様々な意図があった。400年の時を経て見える人間模様…菅田の戦いを糸口に平成27年度前期講義の序章を披露する対談。

日 程 4月18日(土) 14時00分～[開場13時40分]  
 場 所 LICはびきの1FホールM  
 講 師 日本テレマン協会 代表・作家 中野順哉  
 はびきの市民大学 学長 河内厚郎  
 入 場 無料(一般入場可・要整理券)  
 整理券配布は4月1日(水)9時より、はびきの市民大学受付にて(お一人4枚まで)。